

現場業務からマネジメント業務まで、 建物全体のトータル管理を支える 建物総合管理システム「Patina」提供開始

株式会社富士通システムズ・ウエスト

富士通システムズ・ウエストは、建物総合管理システム「Patina（パティナ）」を新たに開発し、2013年1月17日から提供を開始した。

価格は、Patina V1.0（同時アクセス5ライセンス）が二百五十万円で、販売目標は今後3年間で、100社への販売を目標としている。

Patinaは、設備保全管理などの現場業務に加え、建物を維持運営していく上で必要な投資判断やエネルギー管理などのマネジメント業務をトータルに支援するシステム。

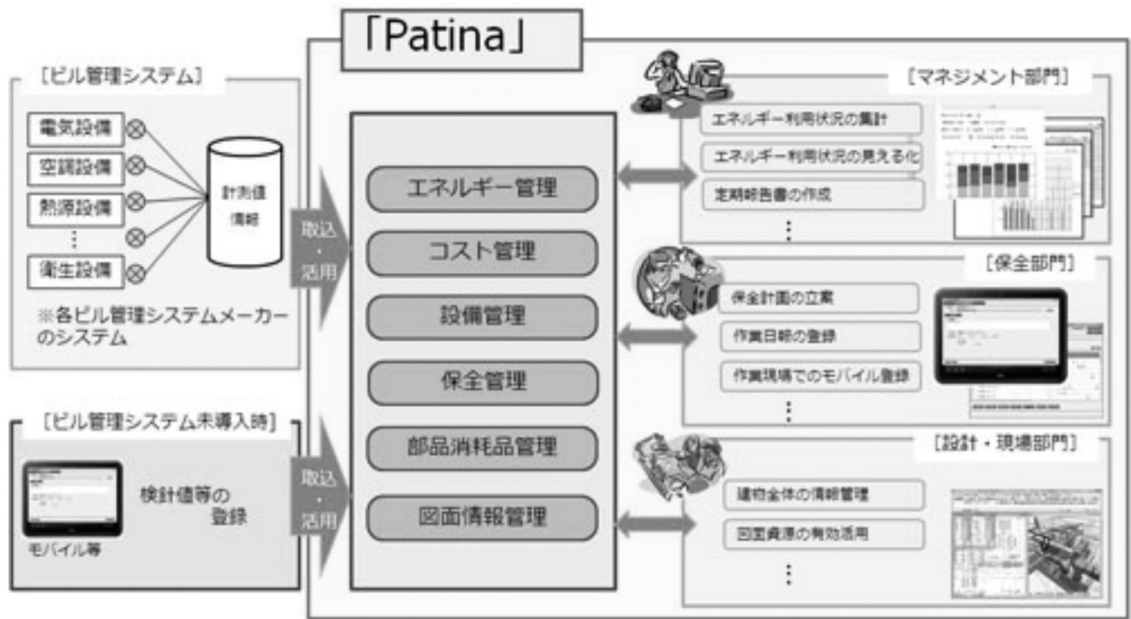
同製品は、63社73事業所に導入が進んでいる同社製品「EDRAS施設管理（エドラス施設管理）」をもとに機能を強化・刷新した製品で、設備管理、保全計画・実績管理などの現場業務はもとより、

建物で使用する電力や水などのエネルギー管理やコスト管理等のマネジメント業務まで、建物にかかわる業務を総合的に管理できる。同製品を導入することで、省エネ対策をはじめとしたエネルギー管理や、建物運営、設備保全業務などを効率よく実施できる。

震災の影響による電力不足への対応は、企業にとっては短期的なピーク電力の抑制だけにとどまらず、恒常的な電力不足、電気料金の上昇に対応した総電力量の削減が必要となっている。

そのためには、ビルや事業所単位のエネルギー利用状況見える化から、企業全体の統合的エネルギー管理まで求められる。また、エネルギー管理に限らず、建物運営などのコスト管理や、ビル管理を行うにあたっての法令への対応など、管理者にとってさまざまな





▲システム概要

業務が必要となってきている。「Patina」により、これらの建物維持保全管理業務の統合的サポートを実現できる。

【Patina】の特長

(1) 設備運転業務を幅広く支援

保全計画の立案、日々の作業日報登録、消耗品管理、設備に関する文書・図面の管理、保全履歴等の検索機能等、日々の設備運転業務で必要となる機能を標準搭載している。さらに、点検検針業務機能はモバイルにも対応可能で、早く正確な業務遂行を支援する。

(2) マネジメントに必須の計画支援／報告支援機能を搭載

エネルギー管理指定業者に義務付けられているエネルギー利用状況の管理、提出する定期報告書の作成などの管理機能を搭載しています。また、約50種類の帳票出力機能を搭載し、帳票は全てEXCEL形式のため再加工も簡単です。集計や報告に関わる時間を削減します。

(3) ダッシュボード機能を搭載

ビル管理データや検針値を取り込み、省エネの対策を実施するために必要となるエネルギー使用状

況を見える化する。インターネットブラウザ対応したダッシュボード機能を使って社内公開することにより、省エネ意識向上へも役立てられる。

【問い合わせ先】

株式会社富士通システムズ・ウエスト
 ビジネスソリューション本部
 第二ソリューション事業部
 第三ソリューション部
 TEL: 089-1945-5980
 E-mail:
 fwest-patina@cs.jp.fujitsu.com